

国境なき医師団日本 初代事務局長／ 国境なき子どもたち 創設者・初代事務局長 ドミニク・レギュイエ 初の書籍出版および来日のお知らせ

11月15日、合同出版株式会社より、書籍『私はドミニク:「国境なき医師団」そして「国境なき子どもたち」とともに一人道援助の現場でたどってきた道のり』が発売となります。

出版に際し、著者ドミニク・レギュイエが11月11日から26日までフランスより来日いたします。この機会にぜひご取材をしていただきたく、何卒ご検討のほどよろしくお願いいたします。

本書は、国境なき医師団日本を立ち上げ、1999年同団体がノーベル平和賞を受賞した際の事務局長でもあったドミニク・レギュイエが、25年にわたり人道支援の現場に向かい続けた想いが綴られた1冊となっています。

- ・凱旋門から100mの場所に生まれた生粋のパリジャンが、なぜ人道支援に携わることとなったか
- ・ノーベル賞受賞団体をやめ、教育支援NGO国境なき子どもたちをゼロから立ち上げた理由
- ・フィリピンのストリートチルドレンから、東日本大震災の被災者、そしてシリア難民の子どもたちまで、世界の子どもたちとの出会い

など、支援を必要とする人々のそばに、常に寄り添い続けた経験やその信念が語られています。

人道支援やNGOの活動、世界の子どもたちの現状に関心がある方はもちろん、フランス人ならではの自由な発想と生き方に興味のある方など、大人から子どもまで多くの方に読んでいただきたい1冊です。



11月17日、国境なき子どもたち設立20周年記念チャリティパーティにて、ドミニク・レギュイエとフリーアナウンサー渡辺真理さんによるクロストークが行われます。書籍について本人が語る時間にもなりますので、合わせてご取材のほどよろしくお願いいたします。

日時:2017年11月17日(金) 19時-21時 会場:T-LOTUS M(東京都品川区東品川2-1-3)

詳細はこちらをご覧ください → <http://knk.or.jp/ev20th/>

【著者略歴 ドミニク・レギュイエ】

1952年7月、フランス、パリ生まれ。大学在学中にストリート・エドューケーターを務め、卒業後は世界を旅して回る。1983年に国境なき医師団に参加、一年間のエチオピア派遣の後、パリ本部に勤務。1992年に国境なき医師団日本事務局を開設。1997年、ごく親しい友人数名と国境なき子どもたち(KnK)を設立。2017年まで同団体の事務局長、現在は同団体の専務理事を務める。

<国境なき子どもたち: www.knk.or.jp>



【出版概要】

『私はドミニク:「国境なき医師団」そして「国境なき子どもたち」とともに一人道援助の現場でたどってきた道のり』

著者:ドミニク・レギュイエ 訳:金珠理

発行:合同出版株式会社 発売日:2017年11月15日 定価:1,500円(税別)

— ご取材に関するお問い合わせ(担当:熊本) —

E-mail: a.kumamoto1221@gmail.com Tel: 090-4897-2198